

NEW PHASE

ニューフェイズ

～いつも気持ちを新たに、新しい風にのせて～

2022. 4 No. 41

contents

国際交流事業2022	1
「パリテカフェ・翼塾1・2」	2
研修・翼講座	3
賛助会員団体第一号	4
「KOZA女性の翼の会」設立	4
第38期研修報告・許田英子さん受章	5
定時総会	6

(一社)沖縄県女性の翼 国際交流事業2022

テーマ「世界を知ろう! 沖縄を伝えよう!!」

佐久本嗣男氏 チャリティー講演会「世界制覇への道」

とき: 2022年3月20日(日) 場所: パシフィックホテル沖縄



喜友名諒氏



佐久本嗣男氏

2008年に始まった国際交流事業が3年ぶり、法人化後初めて開催されました。国際交流事業は、県民をはじめ会員の国際交流や国際親善についての理解を深め、世界に開かれた地域社会づくりと国際社会の発展への寄与、ひいては世界平和に貢献できることを

目指しています。本事業の収益の一部が沖縄平和賞委員会に寄付され、講演会に先立って、玉城デニー沖縄県知事に、国際交流事業大浜るみ子実行委員長が贈呈しました。また、第一回沖縄平和賞受賞ベシヤワール会(故中村哲医師により結成)活動写真展も同時開催しました。

講演会では、沖縄劉衛流空手古武道龍鳳会会長 教士八段 沖縄県立芸術大学名誉教授の空手家 佐久本嗣男氏をお招きしました。「人生は、迷い、挫折、試練の場を乗り越えたと次が見え、絶対に負けないというプラス思考で34歳に世界を制覇し、7連勝した。今の自分があるのは、母のDNA負けず嫌いを受け継いでいる」と語りました。

また、師弟で挑んだ東京2020オリンピック空手男子形において金メダルを獲得した喜友名諒選手の名披露もあり、会場は拍手でわきました。

最後に、「物事をとらえるとき、ポジティブにとらえる姿勢と人生は夢を追わずして何がある」と話されました。

当日、ベシヤワール会への募金は6万円集まりました。
ご協力ありがとうございました。



ベシヤワール会活動写真展



沖縄平和賞委員会への寄付金贈呈



会場の様子

ジェンダー平等は必要なのか ～SDGs全体を通して学ぶ～

講師：玉城直美氏（沖縄キリスト教学院大学准教授）

日時：2021年11月28日（日）／10時～11時半／参加者：12人

参加者



玉城直美氏

参加者からは『ジェンダー、男女共同参画と固定観念にとらわれがちだったのが講話を聞いて全てに配慮、平等、公正、環境に気をつけていくことを理解できました』『今日はとても新鮮で良かったです。改めて、ジェンダー平等は必要だと思います』などの感想が寄せられました。

参加者への問いかけから始まり、平等と公平の違いを考えました。M D G s からSD G sへ変わるべきはまさに先進国の私たちが誰かがけん引するのではなく、企業・自治体・政府・教育現場、重要なのはパートナーシップだとのお話がありました。また、ジェンダー平等の意味をさまざまな事例（企画、CM等）を通して考え、性別によらない、意思決定、環境づくりのために何が必要かの意見交換もおこなわれました。

性の多様性について

講師：新垣誠氏 ゲスト：サキ&マナ氏

日時：2021年12月5日（日）／10時～11時半／参加者：28人



沖縄県性の多様性尊重宣言
（美ら島にじいる宣言）



参加者



新垣誠氏

沖縄キリスト教学院大学教授・沖縄県の「性の多様性の尊重に関する検討委員会」委員長の新垣誠氏を迎え、「性の多様性について」の講話がありました。また、ゲストのサキ&マナ氏のお二人のご自身の体験、経験をお話していただきました。参加者の皆さんより「とても分かりやすく性の多様性の理解が深まりました」「トランスジェンダーに悩み苦しんでいる方々とは、はじめての出会いで間近に話せてとても有意義でした」「性の多様性について私たちが理解し、知識がないと受け止められないことだと思いました」「男女共同参画社会の実現には、地域社会の理解が不可欠です」などの感想がありました。

沖縄ぬ伝え話

講師：島 明美氏（24期）

日時：2022年2月6日（日）／10時～11時半／参加者：25人

島 明美氏
（24期）



「聞き慣れない言葉が多かったがこれから少しずつ勉強したい」「生活に根差した内容でよかった」「改めて方言は大事で言い伝えはないといけないと思った。行事も意味もわからないでやって済ましていたこともつくづく反省させられた」「屋敷の拝み、御願解き、旧正月、火の神迎えなどの行事を落ち着いて、感謝の気持ちでやっていきたいと思った」「家族のために心をこめてやること、がわかり家族一人一人を大切に考えたいと思った」

参加者の感想

沖縄の年中行事である「しちび（節日）」について学びました。特に、火の神（ヒヌカン）、フルルの神、屋敷神（ヤシチガミ）について学びました。「火のかんはこうしなさい」ということでなく、一日一日を大切に思っ生きていけるように神様にお願いますの気持ちで行います」と心構えを学びました。あの世の正月と言われている十六日やお彼岸についての説明もありました。



参加者

「パリティカフェ・翼塾1」

性の多様性 選択制夫婦別姓について

講師：矢野恵美氏（パリティカフェ@共同代表・琉球大学法科大学院教授）

日時：2月19日（土）14時～16時



矢野恵美氏

「女性の翼」事業計画の中に『5カ年ビジョン』があり、その一つに「性別・国籍・職業・地位に縛られない組織を目指す」とあります。その中の「性別」とは「性」ではなく「組織」としては女性・男性だけでなく多様な性へも対応するべきとの意見もあり、今年度は性の多様性についての現状と課題を学んでいこうということで、昨年11月には「ジェンダー平等の必要性」、12月には「性の多様性」について学習をしました。それに引き続き、今回「性の多様性」をさらに深める学習、また昨年話題になった「選択制夫婦別姓」について学習し、課題解決に一つ近づきました。内容の濃い多くの課題が語られましたので、2回に分けて報告します。

講演内容

① 性的多様性の尊重

性とは誰もが持っているものだがそのとらえ方にはさまざまなある。

① 法的な性別とは「割り当てられた性」とも言われ日本では戸籍に表われた性のこと。

② 心の性とは自分の性をどう思っているか、（性自認、ジェンダーアイデンティティ）とも言う。戸籍の性別と一致する人をシスジェンダー、一致していない人をトランスジェンダーという。どちらとも言えない、どちらでもある、決められない性をXジェンダーと言う。

③ 身体性の性とは女性か男性。

④ 表現する性とは服装、言葉遣い、仕草で女らしい男らしいと言われる。

⑤ 好きになる性とは性的指向と言う。好きになる性によってレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーと言われている。日本の法律は性的多数者の人権や法的権利だけが認められている。

今の日本は性的少数者しかいないと思われているのでカミングアウトしなければならなくなっている。ものすごい勇気が必要である。もしカミングアウトされたら信頼されたのだと思っほしい。プライとは性の多様性の尊重を推進する人。女性の翼の皆さんはアライであってほしいです。



「パリティカフェ・翼塾」参加者

「パリティカフェ・翼塾2」

沖縄の基地と経済～脱基地経済と自力経済に向けて

講師：前泊博盛氏（沖縄国際大学教授） 日時：2月26日（土）13時～15時



前泊博盛氏

① 沖縄の基地問題とは何か
日本国土の0・6％しかない沖縄県に米軍専用施設の70・6％が置かれていること。自衛隊と共同使用となればこの数字はすぐ変わる。大事なことは数字でなく負担をどうやって減らすかだ。

② 普天間・辺野古問題

普天間撤去が普天間返還になり、いつの間にか移設に変わっている。日々マスコミにより、普天間は移転するものだとすり込まれている。メ

③ 那覇軍港問題

那覇軍港は使われていないのになぜ浦添に移設するのか？（実は使われていた。つい最近のニュースにあったように）浦添市はキャンプキンザーを嘉手納に移設するのになぜ軍港を持つてくるのか？

④ 米兵犯罪と日米地位協定

復帰後、米兵犯罪は6000件を超えている。そのうち1割くらいは殺人、強盗、レイプ、放火などの凶悪事件である。こういう問題に対して、もう「うちなーんちゅ」は何も言わなくなってきたのか？

⑤ 主権回復への道

旗国法原理や領域主権論について参議院予算委員会でも議論している。



「パリティカフェ・翼塾2」参加者

2021年度(第38期)研修報告

2021年10月1日から3日まで
恩納村で「意思決定の場に女性力
を!!」をテーマに2021年度「沖
縄県女性海外・国内セミナー女性
の翼」が開催され、第38期、12人の研
修員が受講しました。研修は、どの
講師の話も大変興味深く、刺激的で、
さまざまな場面に男女共同参画社会
の視点が必要であることを改めて再
認識できる有意義な内容でした。12
人の研修員は、研修での学びに大き
く影響を受け、男女共同参画の「参
画」とは、「主体的に意思決定の過
程から参加する」ことを認識し、そ
れぞれの地域で意思決定の場に参
加する女性誕生への実践意欲に燃えて
います。

女性の翼の皆さまとの出会い、つな
がりができたこと、多くの気付きや学
びを深めることができたことに感謝
して、第38期研修報告書を作成しま



第38期 女性の翼研修報告書

【主な研修内容】

- ★「女性のリーダーシップについて」
- ★「OISTにおける女性活躍について」
- ★「男女共同参画社会における世界の動向と課題について」
- ★「当社におけるダイバーシティについて」
- ◎基調講演「意思決定の場に女性力を!!」
女性の翼会員議員による活動情報交換会
- ★「意思決定の場に女性力を!!」
～今、あなたの立ち位置を明確にすることが未来につながる～
- ★「SDGsで一番大切なこと」



国内セミナー研修の様子

した。多くの皆さまに、思いの詰まっ
た報告書を手にとってもらえると幸
いです。 第38期団長 嘉手苺弘美

interview

賛助会員団体第一号



(株)オーディフ

Okinawa
Dericous
Foods

ODF創設者の普天間初子氏(25期)の長女で、初子氏の後継者として2016年に社長となられた村野勝子氏を訪ね、「食と学びで人を育て、とことん沖縄の発展にこだわりたい」を伺いました。

ODFは創業1983年、法人化1989年、従業員、約700名で、主な業務内容は、学校給食、病院等の特別給食の製造販売、食堂や病院内の売店の運営などです。「学び」というのは社員に第一種衛生管理者(労働環境、安全衛生などの整備)、調理師、ボイラー技士などの資格習得を支援しています。栄養士が講師となり勉強会をして、毎年合格者を出しています。社員のモチベーションをあげるため国家試験である第一種衛生管理者に合格すると一百万の手当がつけます。

社員の、男女比は約半々ですが、管理職は、8割が女性です。県の目標値が3割ですのかなり高いで

賛助会員コーナー

す。働きやすい職場づくりを進めてきましたので、育児を取った人の職場復帰率は、100%です。

20代、30代の子育て中の栄養士の場合、職場復帰後、仕事と子育ての両立の応援のため、巡回栄養士を取り入れ、いつでも休みが取れるようにしています。育児利用率は、男性46%、女性54%です。

社会貢献の一つとして、浦添市で



左: 普天間初子氏 右: 村野勝子氏

だこ未来応援協議会委員として、不登校の子どもたちに食事を提供しています。今後は、この子たちと料理勉強会を実施したいと意欲的に話されました。

また、「おきなわSDGsパートナー」企業として、取り組みを進めています。

最後に、普天間初子氏が「どんな人の意見も聞き、若者を育てることが大切です」と女性の翼にエールを送られました。

* 受章おめでとう *



左: 許田さん 右: 奥村会長

看護職者としての人生を歩み始めます。中でも看護教育者としての経験が長く、50歳にはコザ看護学校長に女性として初めて就任、その後も消費者センター所長、厚生園園長など行政職を体験し、59歳で県環境保健部参事監(部長級)に昇任しました。

1996年60歳で沖縄県を定

翼6期の許田英子さんは、2021年秋の叙勲・瑞宝双光章(地方自治功労)を受章されました。

許田さんは那覇看護学校を卒業し、琉球政府に採用され、そこに籍を置きながら琉球大学の委託生として学び、高知県で保健婦、米国で助産師の資格を得、

年退職しましたが、退職後も「日本助産婦会沖縄県支部長」など地域医療への貢献、さらには2006年から2011年までは名桜大学看護学科特任教授を務め、名桜大学に看護学科設置計画に伴う諸準備に関わるなど沖縄の看護界に大きな足跡を残しました。

このたびの受章に関しては「昨年11月23日に玉城知事からいただきました。やがて87歳になります、人様から頼まれたことを断る勇気がないので何でも引き受けてしまおう。このように何でも手を出してしまうのがこのような受章につながったのかなと思っています」と喜びを語っています。

また翼との関連では1989年6期(18人)の団長として東南アジア4カ国(インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ)を訪ね、多くの感動を受け女性の地位向上、国際交流に努めようとの意志を固めて帰国し、これまで頑張ってきた。これからの健康に留意されてご活躍されること祈っております。

「KOZA女性の翼の会」設立

つながろう! 広げよう!! 地域翼の会

2021年12月22日沖縄市男女共同参画センターでKOZA女性の翼の会設立総会が、開催されました。

沖縄市におきましては、かつて学びの旅、翼の会という組織がありましたが、残念ながら、現在は解散いたしています。

今日の社会情勢において、SDGsの普及啓発や、男女共同参画社会の実現が、強く望まれる中、一般社団法人沖縄県女性の翼の活動が、大変重要視されております。各地域においても、一般社団法人沖縄県女性の翼の傘下にある地域女性の翼の会が根付き、男女共同参画社会実現にむけさまざまな活動に取り組んでいます。沖縄市も、毎年予算を組み、沖縄県女性の翼主催のセミナー受講者には、支援金を頂いております。これまでの参加メンバーが、沖縄市に貢献するためには、個人では、厳しい現実があり地域女性の翼の会が不可欠になっていました。これからは、沖縄市の会員相互の連携強化を図り、ますます研さんに努め、地域社会の発展に貢献したいと考えます。

今年度のテーマ「意思決定の場に女性力を!!」沖縄市のあらゆる政策決定の場に代表メンバーが活躍でき



設立総会参加者



るよう、沖縄県女性の翼や、他市町村の地域翼の会とも連携強化を図りたいと思います。設立総会までには、沖縄市、沖縄県女性の翼、地域女性の翼の会の皆さまのご協力により、スムーズに設立の運びとなりました。コロナ禍の中、会員宅で楽しく手作り弁当を作り、参加者に振る舞い懇親を深めることができました。

役員の紹介

会長 宮城 枇呂(33期)
副会長 棚原八重子(24期)
会計 金城 壽子(33期)
書記 与那嶺奈美子(35期)
監査 渡口サツ子(23期)

女性の自立を支援するOK基金 企業・個人の皆さまのご寄付を宜しくお願いいたします。

・沖縄銀行県庁出張所 店番012 普通預金 1303558
一般社団法人 沖縄県女性の翼OK基金 会長 奥村啓子

・琉球銀行県庁出張所 店番251 普通預金 194070
一般社団法人 沖縄県女性の翼 会長 奥村啓子

・みらいファンド沖縄(※税控除あり) 沖縄銀行鳥堀支店 店番141 普通預金 1416881
公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事 小阪亘

賛助会員 募集中!

あなたも、女性の翼を応援する一員になりませんか

・賛助会員は、女性リーダー育成の応援団!

・海外セミナー派遣や各種活動を助成する応援団!



ひとりひとりで増員のご協力を!
個人も団体も可能です。
(年会費 個人3千円/団体1万円)

※賛助会員の方へも講座や研修会の参加案内をいたします

講師になりませんか!!

持ち込み講座のご案内

多彩なスキルをお持ちの会員の皆さま!! 講師となって講座を開催しませんか。この機会にたくさんの応募をお待ちしております。ご一報ください。



研修・翼講座委員会 與儀美奈子
☎ 090-2963-1266

3・8国際女性デー沖縄県集会



3月8日、沖縄県女団協主催の3・8国際女性デー沖縄県集会が「ていりる研修室」で行われました。

今年の記念講演は、「『我がごと』として豊かな老いを生きる」(沖縄県立看護大学名誉教授 大湾明美氏)でした。寿命が延びることを喜べるためにフレイル(虚弱)予防が大事。そのためには、栄養、運動、社会参加は連続的であることを知って実践してほしいなどと語りました。この集会では「在沖米軍による有機フッ素化合物の汚染から県民の命を守る要請」など6件の要請が採択されました。「沖縄県女性の翼」も女団協の1団体として毎年この集会に参加しています。

2022年度 定時総会のお知らせ

日時: 2022年5月21日(土)

開 場: パシフィックホテル沖縄(万座の間)

第一部 <<開 会 式>>10:00~11:00

<<定時総会>>11:00~12:00

第二部 12:10~12:50

<<法人設立第3回定時総会記念講演会>>(仮)

テーマ:性の多様性について(仮)

講 師:新垣誠氏(沖縄キリスト教学院大学教授)予定

<<懇親会>>13:00~15:00

ホームページみて下さいね!!

広報委員会では、ホームページに加えFacebook・ブログの充実を図ってきました。ホームページの最新情報から「ブログ」をクリックすると、翼の活動や地域翼の様子がわかります。できましたら「いいね!」をクリックしていただくと担当の励みにもなりますのでよろしくお願いいたします。

今後できるだけ早めの更新を心がけます。皆さまのご感想をお待ちしております。

【寄付者一覧】11月~3月

寄付一般

- ・ハッピーウィングの会
- ・ファームナビの里
- ・オリオンビール株式会社
- ・(有)ハッピーライフ
- ・玉豊商事
- ・匿名希望(3件)
- ・安次嶺悦子
- ・友利敏子
- ・渡名喜よし子

OK基金寄付

- ・石垣市内の募金箱
- ・比嘉恵子
- ・みやらびの会
- ・知花尚子
- ・仲村かおり
- ・崎原末子
- ・沖縄県庁職員募金
- ・浦添市西原一区自治会
- ・浦添市西原二区自治会
- ・玉豊商事
- ・藤田勝己
- ・友利敏子 (敬称略)

(一社)沖縄県女性の翼の目的に賛同し、ご支援いただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。

編集後記 3月下旬に開催された「国際交流事業」を一面に載せることができほっとしました。また、初の「バリテカフェ・翼塾」の講話やSDGsをテーマとした研修・翼講座など盛り沢山の内容になりました。



＼ 賛助会員続々入会 ＼

一般社団法人 沖縄県女性の翼

沖縄県女性の翼

検索

HP

